令和 6 年度第 2 回藤島地域振興会議での質問事項について

●委員（質問）

藤島ふれあいセンター管理事業について、ふれあいセンターを活用しづらいと感じる。管理運営規定はどうなっているのか。

■藤島庁舎市民福祉課長（回答）

管理運営については、住民の自主的活動を推進し、福祉の向上と総合的なまちづくりを図るために設置しており、施設の有効利用に努めて住民福祉の増進と地域の活性化に資するよう運営を行っている。

●委員（質問）

藤島ふれあいセンターの各利用団体の物品の保管はこれまで認められてきたものが、管理者が変わって保管できなくなったと聞くがどうか。

■藤島庁舎市民福祉課長（回答）

利用団体の物品の保管については、6 年度に施設内ロッカーの外部団体利用について整理し、定期利用団体、藤島庁舎関係団体及び藤島福祉センター福祉関係団体の利用を認めている。

●委員（質問）

藤島ふれあいセンターの活用度がどのようになっているのか。子育て支援事業など市側の事業で活用しているようだが、他の団体の活用が少ないのでないか。あまり利用されていないのであれば、児童館として活用したらよいのでないか。

■藤島庁舎市民福祉課長（回答）

子育て支援センターやサークル、100 歳体操などの定期利用の他、福祉団体や PTA などの会合等の利用実績があり、コロナ 5 類移行後は、利用回数が対前年比 100% を超え増加傾向にある。

年間利用回数の約 40% は児童館における「あいあい広場」「書道教室」で利用している状況である。

●委員（質問）

高校生が先端研に出向いて共同研究しているという話があるが、庄農の子供たちも農業の先端を学ぶ機会があれば連携し、そこで学ぶことができないかという話があった。先端研は研究ブースが足りない聞くが、庄農高校には空きスペースがいっぱいあるので利用できないか。県立高校であるが、市と連携し新しい形で取り組んでいければ、子供たちへの PR にもなるのでないか。県外からも入学できるよう

に変わったので、新しい取り組みができないか市はどう考えるか。

■藤島庁舎総務企画課長（回答）

先端研の研究助手、研究生は先端研から直接各高校に案内し、各高校からの受け入れ要請を行っているもので庄内農業高校にも案内を差し上げている。過去には庄農からの受け入れ要請をいただいたこともあり、多くの高校からの参加は市としても望ましいことである。

研究ブースについては、旧栄小学校は廃校になった市の施設である校舎を先端研の別棟として転用して利用しているものであり、県立高校である庄農の利用は市では判断できない。